

PR 課題にインクルーシブな視点で取り組む専門チーム 「DEeye コミュニケーションラボ」を設立

—「虹色 PR パートナー」発足から 10 年、LGBTQ+ 分野の実践知を DEI 全体へ発展—

PR 発想であらゆるコミュニケーション活動を支援する、株式会社ブラップジャパン（東京都港区、代表取締役社長：鈴木 勇夫、以下 ブラップジャパン）は、DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）に根ざして PR の在り方をデザインする専門チーム「DEeye コミュニケーションラボ（ディー・イー・アイ コミュニケーションラボ）」を、2026 年 2 月 16 日に立ち上げました事をお知らせいたします。

「DEeye コミュニケーションラボ」は、「ジェンダー・LGBTQ+」、「障がい」、「多文化共生」、「育児・介護」など、DEI に関する横断的なテーマをめぐり、適切なメッセージ設計や発信方法に課題感を持つ企業や団体に対して、インクルーシブな視点からコミュニケーション活動のコンサルティングを行うプロジェクトです。

【チーム設立の経緯】

■ DEI をめぐる課題が複雑化、包括的な視点のコミュニケーション活動が求められる時代に

近年、企業や団体を取り巻く環境は大きく変化しており、ジェンダー・LGBTQ+、障がい、多文化共生、育児・介護など、DEI をめぐる各課題への認知が進んできた一方、「LGBTQ+と育児」・「障がいと国籍」など、インターセクショナルな課題*も顕在化しています。さらに、反 DEI の潮流を背景に、発信内容やスタンスそのものが企業の信頼・価値を左右する状況も生まれています。

特定のテーマや立場にとどまらない、包括的な視点のコミュニケーション活動が重要となった今、これからの広報活動においては、多様なステークホルダーへの理解をふまえた緻密なメッセージ設計・発信や透明性の確保、広報・経営・IR・人事など複数部門との連携、外部団体・企業との協働など、一貫性のあるコミュニケーションが求められます。

*社会的な属性が交差することで生じる複合的な課題

■ ブラップジャパンの DEI への取り組み

ブラップジャパンは、DEI を企業活動の基盤として、誰もが働きやすい環境の整備から社内外での実践まで、一貫した取り組みを進めています。

＜ダイバーシティ宣言＞

「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」を企業方針として公開：<https://www.prap.co.jp/diversity/>

＜誰もが働きやすい制度・環境＞

- ・ 同性パートナーを配偶者と同等とした社内規定の運用
- ・ ビジネスネームの使用を承認
- ・ 女性管理職比率 43.8%（2025 年 8 月末時点）
- ・ フレックスタイム制、時間短縮勤務、リモートワーク環境完備、遠隔地勤務制度など、柔軟な働き方を促進

<外部評価・賛同>

- ・ 企業の LGBTQ+ に対する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、2016 年から 8 年連続で「ゴールド」を受賞
- ・ 企業の D&I を評価する「D&I AWARD 2025」において、最高位の「ベストワークプレイス」に認定
- ・ 婚姻の平等（同性婚の法制化）への企業の賛同を示す「Business for Marriage Equality」に賛同
- ・ 厚生労働省の「えるぼし」最高段階“3 つ星”認定を取得

■ LGBTQ+分野・育児領域で培った広報の実践知を DEI 全体へ

プラップジャパンは、時代ごとに顕在化する女性活躍やジェンダーなど、DEI の課題に向き合いながら、多様な視点に根ざしたコミュニケーションサービス提供してきました。その中のひとつに、企業や団体の LGBTQ+に関するコミュニケーション課題の解決を目的に社員発案で発足した「虹色 PR パートナー」の取り組みがあります。認定 NPO 法人虹色ダイバーシティとの共同プロジェクトとして 2016 年にスタートし、LGBTQ+に関する知見と、プラップジャパンが有する PR のノウハウを掛け合わせることで、当時はまだ企業・団体の広報において十分に対応が進んでいなかった課題への理解や慎重な判断が求められる発信において、先進的にコンサルティングを行ってきました。



「虹色 PR パートナー」発足から 10 年となる今年、DEI をめぐり、シングルイシューにとどまらず、複合的な背景や課題を踏まえた包括的な視点のコミュニケーションが求められる中、働く女性の育児課題や LGBTQ+分野でこれまで培ってきた実践知を基盤に、企業や団体の DEI 全体に関するコミュニケーション設計を専門に行うチームを立ち上げます。

【「DEeye コミュニケーションラボ」概要】

「DEeye コミュニケーションラボ」は、“DEI”に根ざしたインクルーシブな視点 = “eye”をもとに、企業や団体の“コミュニケーション”の在り方をデザインするプロジェクトです。異なる考え方や背景を持つメンバーとともに探求・実践する場として、“ラボ”という形を採用しました。「ジェンダー・LGBTQ+」、「障がい」、「多文化共生」、「育児・介護」の主に 4 つのダイバーシティ領域に応じたプロジェクトを展開する予定です。

本ラボは、「DEI の観点から企業価値をどのように捉えて伝えるべきか」・「社内外への DEI の認知や理解を高めるにはどうすれば良いか」といった、企業や団体の DEI をめぐるコミュニケーション上の課題に対して、発信内容の策定・ステークホルダーとの関係構築など、コミュニケーション設計の各プロセスにおいて知見やノウハウを提供いたします。今後は、社内のナレッジ蓄積・育成や環境整備を進めるとともに、社外に向けた新規ソリューションの開発・外部連携、情報発信などを段階的に実施し、プラップジャパンならではの「DEI×コミュニケーション」を目指してまいります。

■コンセプト

プラップジャパンのパーパス「あしたの常識をつくる。」に資する形で、DEI を軸に、本ラボの Mission・Vision・Values を設定しました。

Mission

DEIをめぐる
コミュニケーション課題に
インクルーシブな視点で
コンサルティングを行うことで、
企業・団体の価値向上に貢献

Vision

コミュニケーションサービスを
通じて、DEIの実現に貢献

Values

インクルーシブな視点
対話
尊重
柔軟性

【「DEeye コミュニケーションラボ」メンバー】

- 米津 江里子／ラボ所長
- 小林 舞／プロデューサー
- 米田 咲織／アカウント
- 藤井 沙奈／アカウント
- 杜下 諒乃／アカウント
- 城島 佐知子／アドバイザー
- 三輪 一生／担当役員

プラップジャパンは、「DEeye コミュニケーションラボ」を通じて、多様なステークホルダーの声や視点により一層真摯に向き合い、良好な関係性を育むコミュニケーションづくりに寄与してまいります。

プラップジャパンとは

株式会社プラップジャパンは、PR 発想で企業や団体のコミュニケーション活動を包括的にサポートする、コミュニケーションコンサルティング・グループです。1970 年に総合 PR 会社として創業して以来、多様な価値観の世の中において「あらゆる関係性を良好にする」というミッションを軸にビジネスの領域を広げてきました。日本・中国・東南アジアに拠点を持ち、コミュニケーション分野に専門性を持った複数のグループ会社と連携しながら、これまでの「当たり前」にとらわれず、社会の視野を広げるコミュニケーションで課題を解決しています。

プラップジャパン URL : <https://www.prap.co.jp/>

プラップグループ URL : <https://www.prapgroup.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社プラップジャパン内「DEeye コミュニケーションラボ」

Email: deeye_comm_lab@prap.co.jp